

5 / 6 (ろくぶんのこ)

7月20日

No. 10

藤沢市立長後中学校

受験生として知ってて当たり前のこと～募集案内のトリセツ①～

令和6年度「公立高校募集案内」を読む(私立希望者もお読みください)

明日から夏休み!!夏休みには、部活の大事な予定や、遊びに行ったり、旅行に行ったりという計画もきっとあるでしょう。それらはすべて大切なことです。ぜひ十分楽しんでよい夏休みを過ごしてください。

しかしみんなには、夏休みに「やらなければならない」大きなひと仕事がありますね。そう、もちろん、**自分の進路としっかり向き合う**ということです。



「募集案内」をじっくり読むことから始まる

全員に、むらさき色の冊子を配付しました。令和6年度神奈川県公立高等学校入学者選抜募集案内という長いタイトルがついていますが、とりあえず、これを「募集案内」と呼びます。

この冊子には、公立高校の入試について、みなさんが必ず知っておかなければことが、たくさん載っています。だから、とにかくこれをじっくり読んで理解することから「入試準備」が始まると言ってよいでしょう。もちろん、すでに現時点で、私立高校等の専願推薦で受験することを家族で決定している人は、そのまま進めば、公立を受検しないわけですから、他の人よりは、楽な気持ちで読んでもらってけっこうですが、公立高校の受検システムを知っておくことは、きっと役に立つはずですよ。



1ページ システムを知ろう

①大きく分けて2種類の「機会」があります。共通選抜(2/14～16)と定通分割選抜(3/14, 15)です。いわゆる「入試」と言われるのが

「共通選抜」、一般に「定時制の試験」と呼ばれるのが「分割選抜」だと考えてください。

②「共通選抜」は定時制高校・通信制高校と全日制の高校が同じ日に入試を行います。

③そして、全日制の高校では「二次募集」は「募集者が定員に達しなかった高校」(「定員割れ」した時)だけを行います。(試験日は3/8)だから二次募集はやらない学校がほとんどです。

また、もし二次募集があったとしても、進学するしないにかかわらず、公立でも私立でも、どこかの学校(専修学校なども含め)に合格している人は、二次募集には出願できません。

④また、定時制高校も、この「共通選抜」で、定員の8割までは選びます。定員の2割だけを「分割選抜」で募集するのです。だから、「ぜひこの学校の定時制に入りたい」という人は、共通選抜から定時制を受けた方が有利だということです。

⑤次に「入試」の内容です。共通選抜では「学力検査＝試験」が全員に行われます。1次選考では、試験の点数に「学校の成績＝調査書の評定＝内申点」を加えた2つで合格か不合格か判定されます。1次選考では、定員の9割を選び、残りの1割を2次選考で選びます。2次選考は、試験の点数に「3学年の主体的に学習に取り組む態度」の評価を点数化したもの(27点満点)を加えた2つで合格か不合格か判定されます。(1次、2次選考ともに、特色検査を実施する高校は、特色検査の結果を含めた3つで判定されます)

全日制では5教科50分100点満点の試験、定時制では3教科(英国数)30分50点満点の試験を行います。

⑥一部の高校では「面接試験」が行われます。募集案内 p 13以降の選考基準の確認が必要です。また、面接試験がある学校には、募集案内 p 11の「面接シート」を書いて提出しなければいけません。

以前、何名かの高校の先生に聞いてみたところ「面接はみんなものすごく準備をしてくるので、そんなに差がつかないです」とのことです。ということは、準備をちゃんとしてきていない人は、すごく目立つ、ということです。面接は人物を見てもらうものですが、自分をちゃんとアピールするためには「準備」が必要です。（すでにみんなに連絡していることですが、面接シートは清川が持っていますし、夏休み中に書きたい人は取りにくるように・・・と。提出した人には添削をして返却します）

⑦大和東高校などの「クリエイティブスクール」（中学校までに、持っている力を十分に発揮しきれなかった生徒に対して、学習意欲を高めて指導するための学校）は、学力検査を行いません。その代わりに中学校の「調査書＝内申書」と「10分ほどの個人面接」を重視し、面接の際に「自己表現活動」を行って、選抜されます。[募集案内 p 17 & p 28](#)に解説が載っています。

⑧また、「クリエイティブスクール」では、調査書の評定（5 4 3 2 1）ではなく、2、3年生の「主体的に学習に取り組む態度」という項目のみを評価します。（授業への参加意欲とか、自分を少しでも高める努力をしているか、教科の「めあて」を実現しようとねばり強く取り組んでいるかどうか、そういう視点で評価される項目です）つまり、「真剣に中学校で生活・学習したかどうか」を見る、ということです。

⑦また「湘南高校」「鎌倉高校」「茅ヶ崎北陵高校」「神奈川総合高校」「海洋科学高校」などの高校でも、入試には「特色検査」（自己表現活動や特殊な問題など）を実施しています。[募集案内 p 25、26](#)に解説が載っています。

⑧また「上矢部高校」美術科ではデッサンの実技試験、「相模原弥栄高校」スポーツ科学科では運動の実技試験なども行われます。[募集案内 p 27](#)に実技検査の概要が載っています。

[2ページ](#) **特別な募集**

「海外帰国生徒」「外国人の生徒」「インクルーシブ教育に取り組む生徒」などに該当しない人にとってはあまり関係ありません。



[3～5ページ](#) **日程を押さえておこう**

7ヶ月後（223日後）の2/28。

その日が今年度の「共通選抜」の合格発表日です。その日までには「私立の推薦入試」「専願入試」も終わり、「併願入試」も終わっているわけですから、（もちろん、その後に「分割選抜」で「定時制」や「通信制」を受ける人もいますが）2/29には、ほとんどの人の「進路先」が確定することになります。

「だいぶ先じゃん」などと思っははいけません。時間は全員に公平に、しかし着々と流れていきます。

①まず共通選抜の日程を確認してください。

募集期間（願書提出） 1/24～26（予備日1/29～31）

今年からWeb出願ですから、事前登録など余裕を持って取り組みます。

志願変更 2/5～7

倍率を見たりして、志願先を変えることができます。1度しかできません。変更もWebで行います。

学力検査 2/14 **特色検査 2/14～16** **合格発表 2/28**

②ここには載っていませんが、これと並行して私立高校などの入試日程があります。例年だと2/10以降に入試があり、すぐ後に発表が行われます。推薦受験者は1月下旬には入試が行われます。公立を受検する人は、できれば「併願」に合格して安心感を持って公立に挑みたいところです。[募集案内 p 33](#)に私立高校の日程や受験パターンの解説載っています。

③二次募集の日程も載っていますが、受検を終えないと、まったく、何も分からないので、「あてにしてはいけない」ということです。

④分割選抜の日程（いわゆる定時制の入試）も決まっているので参照してください。**募集は3/5～6、学力検査は3/14～15、発表は3/21**です。（分割選抜の「二次募集」も行われることがあります）

（文責 進路担当：清川）

シリーズ：心の支えになる言葉 6

中国の思想家 孔子の論語から												訓読文
書き下し文 これを 知るを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを	これを 知るを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを 知らざるを	是	こ		不	ぎ	知	ル				
		知	レ	レ	知	ル	レ	之	ヲ			
		也			為	ラ		為		な		
			ル			な						
			なり		レ	ス	レ	知		シ		
					レ	ギ						
						ル	レ	之		ル		
						ト				ト		
						ラ				ヲ		

解説

国語の授業で「漢詩」を勉強しましたね。古代中国の偉大な思想家、孔子の残した、多くの言葉が、今現在の私たちの心や行動の役に立つ。本当にすごいことだと思います。

今日は「論語」の中から、学習の「スタート」になる言葉を紹介しします。意味は・・・

～自分が知っていることは知っている、と、そして、知らないことは知らない、と、

素直に認めること。これが「知る」ということの本当の意味だ。～

「そうそう!」と思った人は、学習にちゃんと向き合っている人だと思います。学習はすればするほど「知らない」と感じることは、増えていく。それでいいのです。「知らない」ことがはっきりするということが、つまり「知る=学習」の始まりなのです。

シリーズ：心の支えになる言葉 7

日本の教育者 陰山英男さんの本から

～ 子どもがつまずきやすいからと、そこを回避させるのではなく、一緒になって立ち向かっていく、それが私たちの仕事です。

祖父母の時代からやってきたことが、これほど進んだ、現代の子どもたちにできないままで良いなら、そもそも進歩とはなんなんだ、ということになるでしょう。 ～

陰山英男「本当の学力をつける本」

解説

保護者の方も、我々教員も、みな完全な人間ではありませんし、人生について、この世の中について、全てを分かっているわけではありません。ただ、みんな、何かに立ち向かってきた経験を持っているというだけです。だからこそ、一緒に立ち向かっていく、そんな決意を持ってともに考え、指導していきたいと思っています。

百ます計算(岸本裕史が考案)でメディアに注目されましたが、陰山さんの教育法の根底にあるのは、「基礎的な生活習慣を身につけさせること」と、「反復練習」だと述べています。

この夏休み、夏休みだからこそ、生活習慣について考えてみてどうですか?